

未来づくりキャンパス「地域資源活用塾」修了生 アンケート結果

アンケート実施期間 平成30年12月19日～平成31年1月21日

	1期生 (H28)	2期生 (H29)	合計
対象者数	17	15	32
回答者数	10	7	17
(回答率)	(59%)	(47%)	(53%)

問1 参加してみてどうでしたか。

選択肢	1期生 (H28)	2期生 (H29)	合計
大変満足	1 (10%)	4 (57%)	5 (29%)
満足	4 (40%)	3 (43%)	7 (41%)
不満	4 (40%)	0 (0%)	4 (24%)
大変不満	1 (10%)	0 (0%)	1 (6%)

問2 (問1で「大変満足」「満足」と回答された方)

満足された理由を教えてください。

〔1期生 (H28)〕

- ・ 課題解決のためのプロセスについて学習できた。
- ・ 市民の方々のニーズを詳しく知ることができた。
- ・ 講話だけでなく、実践を重視しているところ。
- ・ 人脈ができた。
- ・ 自分の考えを見つめ、まとめ、発表する力がついた。
- ・ 色んな方々と知り合いになれた。それが縁でまちや倶楽部のオーナーと知り合い、NPO法人安土城再建を夢見る会の活動拠点が出来た。グループ活動は大した成果はなかったが・・・
- ・ これまで関わりのなかった活動者達と会話でき、楽しいキャンパスになりました。

〔2期生 (H29)〕

- ・ 市の魅力を発見することができた。
- ・ チームビルディング力が向上した。
- ・ 課題解決力が高まった。
- ・ 問題(課題)を見つけ、解決するまでを順序立てて教えていただけたため。
- ・ グループに分かれて取り組むことで、自然と役割分担ができ、今まで気付かなかった自分の得手不得手を見つけることができました。
- ・ たくさんの大人と話すことができ、尚且つチームで活動できたこと。
- ・ チームの仲間で協力したり、話し合ったりしてゴールに向かうのが、難しかったし、楽しかった。
- ・ 「たちまち起業する!」といったアイデアもなく興味本位で参加しましたが、講習や実地調査、また「おとしごと」に向けたチームメンバーとの打合せなどは、日常業務では得られない貴重な体験となりました。厳しい日程でしたが、短期集中で取り組むことができたことも良かったです。
- ・ 塾に参加することで近江八幡のことをより深く知ることができた。また、他のチームの方の取組なども知ることができ、自分の住むまちがどうしていけば良くなっていくのかを違う角度から知ることができたから。
- ・ 様々なインプットとアウトプットがあり、大変勉強になりました。
- ・ 色んな仕事をされている方と一緒にチームを組んで活動することができ、刺激をたくさんいただきました。

↳ 問3 (問1で「不満」「大変不満」と回答された方)

不満を感じられた点を教えてください。

〔1期生 (H28)〕

- ・ 具体的な活動資金の獲得方法、援助などのサポートが欲しかったです。
- ・ 講座の進むスピードが速く (学生など授業慣れしている人向けの感覚で進む)、シニア世代には追われている感じがして、付いていくのが少し大変だった。
- ・ 市の意図は分かりますが、市の職員は度々「受講者にやらせる」姿勢が全面的に感じられ、共に問題・課題を認識し解決しようという部分が欠けていると感じました。
- ・ 活動テーマ選定から決定までのプロセスが重要と考えるが、このステップでの市の関わり方や支援プロジェクトに納得がいかなかった。当事者への丸投げ感があまりにも強かった。現状把握、データの取り方にももっと協力的なフォローが必要であるとする。
- ・ 自主的にゼロから取り組むためには無理がある。

〔2期生 (H29)〕

-

問4 塾に参加したことで、身についたと思われるスキルを教えてください。

〔1期生 (H28)〕

- ・ 課題解決のためのプロセスを活用するスキル。
- ・ 市民のニーズを知るためのスキル。
- ・ 具体的な物事の進め方、考え方など。
- ・ 地域へのアプローチの仕方。
- ・ チラシの作成、発注、配布、イベントの開催方法。
- ・ 人に意見を伝えるスキルが身についた。
- ・ 話を伝えるのではなく、心に響く伝え方ができるようになった。
- ・ 特にないが、人脈ができたのはよかった。
- ・ 色々な人と知り合いになって勉強になった。
- ・ 地域課題解決に向けた取組を進める手法についての知識を得ることができました。
- ・ 市内での活動にどのようなものがあるのか、初歩的把握ができました。

〔2期生 (H29)〕

- ・ チームビルディング力
- ・ 論理的思考力
- ・ 課題解決力
- ・ 限られた期間の中で最初に決めたゴールまで実行する力。とはいかないまでも、達成・実現可能なところを見極める力は付いたと思います。
- ・ 対人スキル
- ・ ミーティング能力
- ・ アイスブレイクやファシリテーター、ベルソナなど知らなかったことを学べた。
- ・ 今までSNSには疎かったのですが、キャンパスを機会にFacebookで情報共有をするなど、IT (ICT)を体感できた (スキルアップまでいっていませんが・・・)。
また、スキルではありませんが、今回お世話になった講師の方からイベントにお誘いいただき、今までなら体験することがなかった世界を見ることができたことから、これもキャンパスでのつながりの成果としたいです。
- ・ 1 自分のやりたいと思うことを人に伝えるための方法
2 何かを興すにあたり、お金を生み出し、継続させていくためのやり方
3 人を呼ぶことの方法、それを継続させる必要性
1～3のスキルを身につけられてはいませんが、その重要性を学びました。
- ・ 様々な情報を収集する力
- ・ 様々なバックグラウンドを持った方とコミュニケーションをとって活動していくスキル

問5 塾で取り組んだ「活動」を今も継続されていますか。

選択肢	1期生 (H28)	2期生 (H29)	合計
継続している	3 (30%)	0 (0%)	3 (18%)
塾のテーマではなく他のテーマで活動を始めた	1 (10%)	1 (14%)	2 (12%)
断念した	5 (50%)	6 (86%)	11 (65%)
無回答	1 (10%)	0 (0%)	1 (6%)

問6 (問5で「継続している」「塾のテーマではなく他のテーマで活動を始めた」と回答された方)

修了してから現在までの活動内容を簡単に教えてください。

〔1期生 (H28)〕

- ・メンバーは異なるが、当時呼びかけて参加してもらったボランティアグループの方と、実現に向け、今も月1回活動している。
- ・H29年度・・・体験農園開始 (1名)
H30年度・・・収穫体験会実施 (3名)、体験農園実施 (4名)
H31年度・・・収穫体験会実施 (10名予定)
- ・近江八幡J Cで活動発表。
- ・近江八幡市の生活支援コーディネーターや認知症地域支援推進員として活動。
- ・他市町で講義をしたり、啓発活動を行っている。

(以下、断念した理由)

- ・塾でのテーマは断念したが、元々行っている活動に活かしている。
- ・資金、場所の問題が大きく、ハードルの高さを思い知らされた。
- ・月1回一年間活動しましたが、資金の問題と各個人が予定を合わせられなくなってきた。進み具合が予想できない。地域資源活用の絵は描けても、実現には今一步・・・

〔2期生 (H29)〕

- ・求められたテーマがあれば、それに向かって動こうとっていて、今は市外の子育て関係でデザイナーとして仕事で関わっています。
- ・近江八幡に貢献したいという気持ちはありましたが、実際に起業する！とまで行き着くことは出来ませんでした。

問7 塾でもっと学びたかったことや、今後の塾の運営に向けてアドバイスがあればお願いします。

〔1期生 (H28)〕

- ・近江八幡市にしかない唯一の物事について、話を聞ければよかったかなと思います。それを利用した活動を考える人がいても良いと思います。
- ・塾終了後も定期的な相談窓口、サポートをお願いできればありがたいです。また、地域へのアプローチに市の方が一緒にサポートしてもらえると (広報を含む)、信頼が築きやすい。一人で呼びかけても、いまいち反応が薄い。
- ・あと2～3年この事業を継続してみて、うまくいきそうでしたら、一度何かの機会に、体験農園を開いてみたいと思っている農家の人に、事例として紹介できればと思っています。
- ・市の関係者は管理し、やらせることに重点を置いていたが、実際に上手く実を結ぶのは大変であり、フォロー体制を強化したほうが良い。
- ・ある方が教育関係の企画を提案され、各学校の校長先生に話して合意を取ったら、その方が転勤され全てゼロになったと言っておられました。仕方ないと言われればそれまでですが、やり方にも問題があると思います。個人主体の理屈が多すぎます。
- ・テーマの絞込み、決定時に政策推進課の担当者が時間を割いて、活動の会議にも入り込み、問題等も共有すべきだと考えます。
- ・ゼロからのスタートは無理があるので、目的に類似した活動団体で実習したらどうか。現在出来上がっている団体も、存続することに悩んでいる。
- ・これからの社会動向、例えば高齢化が進む中、空家の増加に対する様々な意見交換が出来れば、行政の補助になるのでは・・・。そんな活動に繋がればと思っています。

〔2期生（H29）〕

- ・（自分に対してですが、）学ぶ姿勢を忘れず、継続的に行動していきたい。そのような機会があれば、今後も積極的に参加してみたい。
- ・塾の期間が約半年と短いため、長期的に取り組むための心の準備をするのが難しいと思いました。せめて1年くらいの期間の中で、課題発見→お試しごと→振り返り→お試しごと2回目ぐらいまでできると、今後も続けていく自信が付くと思いました。
- ・積極的に運営陣に話していただいて、とても感謝しています。
- ・（特にテーマを持っていない者にとっては、）最初に近江八幡市が抱えている問題のうちの4部署くらいから、現状などを話していただけたら……。その後も、その部署の人がチームに1名入っていただけたら……。
- ・「よそ者・若者・ばか者」が集え、熱く語れ・議論でき・実行できる、そんな場づくりがあればいいと思います。その中でも「若者」がキーになるような仕組や仕掛けが必要と考えます。
- ・起業する！という強い信念を持つ人（既に起業している人）と、自分の生活を確保しながら、起業するような人に貢献したいという人がいると思います。この2つが同じ立場でセミナーを受けているとずれが生じてしまうと思います。
起業する！という強い信念を持つ人（既に起業している人）で、魅力のある方々はすでに近江八幡にもたくさんいらっしゃると思うので、公募という形と、役所側からこの人！という人に呼び掛ける形をとってもいいのではないかと思います。
貢献したい人たちの中でそういう方々に触れ合うことで、今度は主導する側にまわっていく人、貢献を続けていく人がでてきて、良い流れになればいいなと思いました。
- ・事業としてどのようにその事業をカスタマイズしていくのかというところが弱かったと思います。その観点を身に付けることで、この活動を継続する人も増えていき、更に滋賀に戻ってくる人が増えると思います。